

高知市とその周辺における哺乳類の犬ジステンパーの発生状況

吉澤 未来・渡部 孝

〒780-8010 高知市棧橋通6丁目9-1 わんぱくこうちアニマルランド

The canine distemper outbreak situation of mammals
in Kochi City and the outskirtsMiki Yoshizawa & Takashi Watabe, *Wanpark Kochi Animal Land, 6-9-1 Sanbashidori,
Kochi 780-8010, Japan*

はじめに

犬ジステンパー (CD) は、パラミクソウイルス科 Paramyxoviridae モルビリウイルス属 *Morbillivirus* に属する犬ジステンパーウイルス canine distemper virus (CDV) が引き起こす疾患で、感染動物の分泌物を経口的または気道を介して感染すると考えられている (大石, 1993; 清水ほか, 1997)。本ウイルスは、イヌ科 Canidae, クマ科 Ursidae, イタチ科 Mustelidae, ジャコウネコ科 Viverridae 等に感受性がみられ (北, 1984), 近年タヌキ *Nyctereutes procyonoides* を筆頭とした野生動物に、日本各地で CD 発症例が確認されている (日高ほか, 1966; 久保, 1991; 大橋ほか, 2000; 與名ら, 2003)。

本論文では、アニマルランドに保護収容された野生哺乳類でみられた CDV 疾患の発生状況について紹介する。

材料と方法

アニマルランドは高知県より委託を受け、傷病野生鳥獣の保護治療事業を行っている。保護動物は高知市ではもちろん、保護動物収

容施設のない高知市近辺の市町村からも当園に運ばれてくる。2005年10月から2006年11月までの14ヶ月間に当園に保護収容された野生哺乳類について調査した。

結果と考察

2005年10月12日に収容したタヌキから CDV が検出された。それ以降約1年間に当園に保護収容されたタヌキ、アナグマ *Meles meles anakuma*, ハクビシン *Paguma larvata* の一覧を表1に、またその保護場所を図1に表した。表1のNo. 1からNo. 6までは病理組織学的検査により CDV の感染が確認された。またNo. 7からNo. 9まではその症状や経過から CDV 感染と判断した。2005年11月以降は CDV 抗原検査用キット (チェックマン CDV) を用いて保護されたタヌキ、アナグマ、ハクビシンの CDV 感染を判断した。CD を発症した動物は、保護日又はその翌日に死亡している。

図1から、一度発症した個体が保護された場合、その地域は CD に汚染されているため、続けてタヌキが保護される事が多いと推測される。

図2に当園の保護動物数を示した。保護動

表1. 保護収容されたタヌキ、ハクビシン、アナグマの一覧.

No.	収容日	動物種	保護場所	検査等
1	2005/10/12	タヌキ	高知市浦戸	病理
2	2005/10/14	タヌキ	高知市浦戸	病理
3	2005/10/19	タヌキ	高知市浦戸	病理
4	2005/10/21	タヌキ	高知市五台山	病理
5	2005/10/24	タヌキ	高知市長浜	病理
6	2005/10/24	タヌキ	高知市浦戸	病理
7	2005/10/26	タヌキ	高知市五台山	症状より判断
8	2005/10/30	タヌキ	高知市長尾山町	症状より判断
9	2005/10/31	タヌキ	春野町弘岡下	症状より判断
10	2005/11/17	タヌキ	春野町西分	チェックマンCDV(+)
11	2005/11/21	タヌキ	土佐市高岡町	チェックマンCDV(-)
12	2005/12/5	タヌキ	赤岡町旭町	チェックマンCDV(-)
13	2005/12/10	タヌキ	高知市五台山	チェックマンCDV(+)
14	2005/12/15	タヌキ	春野町南ヶ丘	チェックマンCDV(+)
15	2006/1/9	タヌキ	高知市大津	チェックマンCDV(+)
16	2006/1/14	タヌキ	高知市大津	チェックマンCDV(+)
17	2006/1/15	タヌキ	高知市大津	チェックマンCDV(+)
18	2006/1/26	タヌキ	高知市長浜	チェックマンCDV(+)
19	2006/2/6	タヌキ	高知市大津	チェックマンCDV(+)
20	2006/3/14	タヌキ	南国市明見	チェックマンCDV(+)
21	2006/3/17	タヌキ	高知市高須	チェックマンCDV(+)
22	2006/3/19	ハクビシン	高知市西秦泉寺	チェックマンCDV(-)
23	2006/3/21	タヌキ	春野町西諸木	チェックマンCDV(+)
24	2006/3/28	タヌキ	春野町秋山	チェックマンCDV(+)
25	2006/5/8	タヌキ	高知市大津	チェックマンCDV(+)
26	2006/6/16	タヌキ	高知市石立町	チェックマンCDV(-)
27	2006/6/27	ハクビシン	高知市北中山	チェックマンCDV(+)
28	2006/6/28	ハクビシン	高知市大津	チェックマンCDV(+)
29	2006/7/7	タヌキ	高知市大津	チェックマンCDV(+)
30	2006/7/27	タヌキ	春野町西畑	チェックマンCDV(-)
31	2006/7/8	タヌキ	高知市塩屋崎町	チェックマンCDV(+)
32	2006/9/15	タヌキ	高知市浦戸	チェックマンCDV(+)
33	2006/9/20	タヌキ	土佐市用石	チェックマンCDV(-)
34	2006/9/30	タヌキ	高知市瀬戸南町	チェックマンCDV(-)
35	2006/10/6	タヌキ	土佐市蓮池	チェックマンCDV(-)
36	2006/10/12	タヌキ	高知市介良	チェックマンCDV(+)
37	2006/10/11	ハクビシン	南国市小籠	チェックマンCDV(-)
38	2006/10/21	タヌキ	高知市高須砂地	チェックマンCDV(+)
39	2006/11/2	ハクビシン	高知市丸ノ内	チェックマンCDV(-)
40	2006/11/2	タヌキ	高知市高須本町	チェックマンCDV(-)
41	2006/11/3	タヌキ	高知市一宮東町	チェックマンCDV(-)
42	2006/11/5	アナグマ	高知市布師田	チェックマンCDV(+)
43	2006/11/11	タヌキ	吾川郡いの町	チェックマンCDV(-)

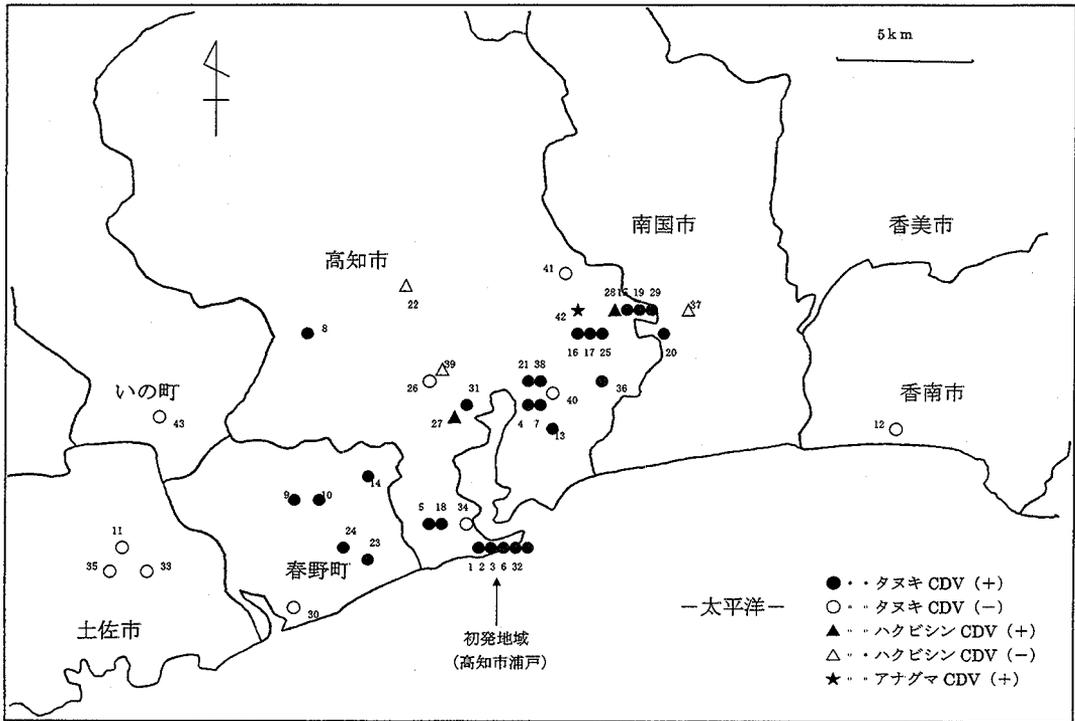


図1. タヌキ・ハクビシン・アナグマの保護地点.

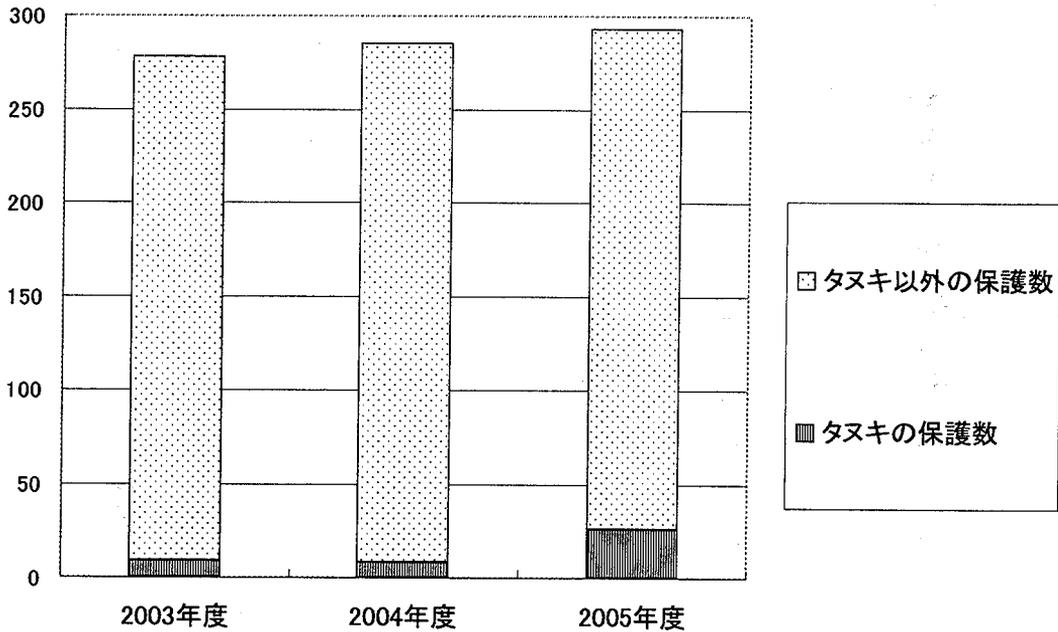


図2. タヌキ等の保護数.

物数におけるタヌキの割合は2003年度、2004年度とほとんど変化がないが、2005年度はタヌキの保護数が大きく増加している。

今回の発生当初はCDを発症し保護されたのはタヌキのみだった（渡部ほか、2006）が、2006年6月には続けて2頭のハクビシンが保護され、共にチェックマンCDVで陽性を示した。2006年11月にはアナグマでもチェックマンCDVで陽性を示した個体が保護されている。

2005年10月から2006年11月まで月別のタヌキ、ハクビシン、アナグマの保護数を図3に表した。2006年4月からはタヌキのCDを原因とする保護数が減少し、発生から一年が経過した現在はタヌキのCD発生が終息を迎えつつあるように思われる。

これは発生地域のタヌキがCDの抗体を獲得

し、感染に抵抗性を示すようになったためと考えられる。それに代わり、アナグマやハクビシンなどCDに感受性のある他種の動物に発生がみられるようになった。

この事から今回のCDはタヌキに限らず感受性のある動物に広く蔓延し、地域の野生動物に大きなダメージを与えうる状況が続くと考えられる。タヌキに感染していたウイルスが他種に感染性があるものに変異したのか、元々感染性のあったウイルスなのかは、発症したアナグマ、ハクビシンを調査する事により今後明らかにしていきたい。

謝 辞

病理学的検査を実施していただいた、高知県中央家畜保健衛生所小松誠祐所長（現高知県東部家畜保健衛生所所長）、同中央家畜保健衛

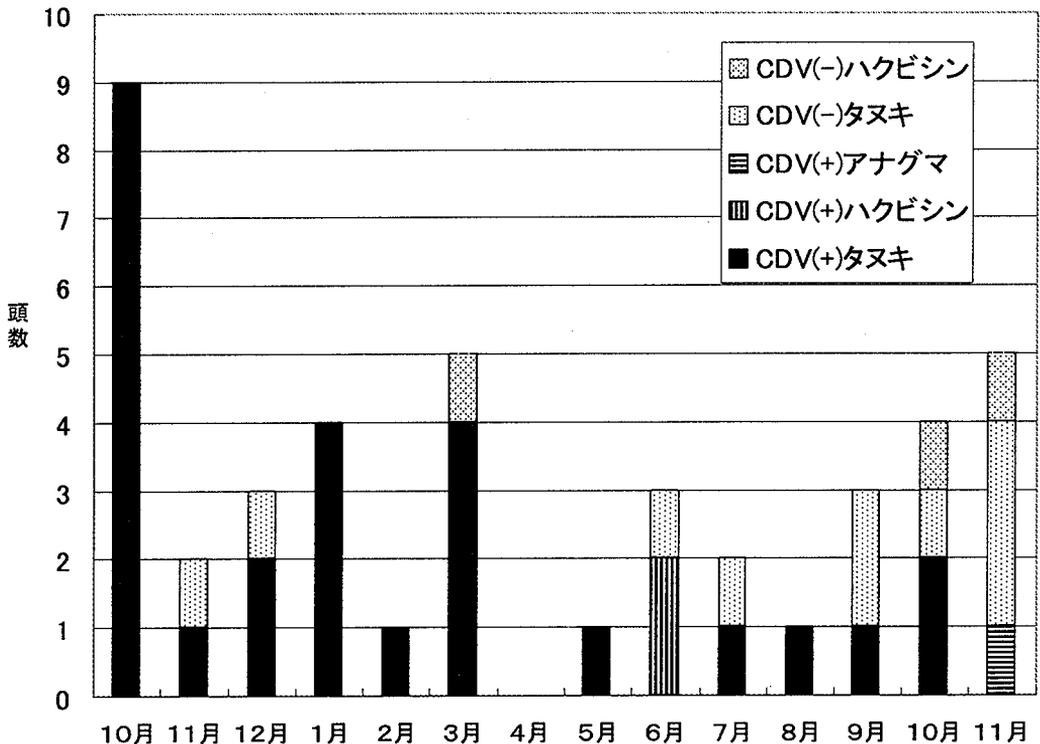


図3. タヌキ・ハクビシン・アナグマの月別保護数

生所病性鑑定室宮村和典チーフ（現高知県畜産課班長）ならびに酒井賀彦先生に深謝いたします。

引用文献

- 日高勇一・町田 登・中村 孝・桐生啓治・宮崎 学. 1966. 犬ジステンパーに罹患したニホンアナグマ (*Meles meles anakuma*) 1例の病理学的 所見. 日獣会誌 49: 563-565.
- 北昂 (朝倉繁春監訳). 1984. 野生動物の獣医学. 文永堂出版, 東京.
- 久保正法. 1991. 犬ジステンパーにより死亡したと考えられた野生狸の1例. 日獣会誌 44: 230-233.
- 大石 勇. 1993. 犬の臨床病理マニュアル: 342-344. インターズー, 東京.
- 大橋謙司郎・甲斐知恵子. 2000. 日本の野生動物におけるモービリウイルス感染症. 獣畜新報 53(10): 834-838.
- 清水悠紀臣・鹿江雅光. 1997. 伝染病学: 164. インターズー, 東京.
- 渡部 孝・吉澤未来. 2006. 犬ジステンパーが原因と考えられた野生タヌキの死亡多発例. J. Enviro. Dis. 15: 1-2.
- 與名理昇・宮村和典. 2003. 野生タヌキに発生した犬ジステンパーの免疫組織学化学的特徴. 高知県畜産技術職員研修会発表集録 (高知県農水産部畜産課) (45): 5-10.